

南海電鉄 高野山駅/極楽橋駅 改装工事



所在地：高野山駅／
和歌山県伊都郡高野町大字高野山国有林第9林班ノは
極楽橋駅／
和歌山県伊都郡高野町大字高野山国有林第8林班
規模：高野山駅／頭端式2面1線(鋼索線)
極楽橋駅／頭端式2面1線(鋼索線)・櫛形3面4線(高野線)
施主：南海電気鉄道株
施工：建築／南海辰村建設株
電気／南海電設株
完了：2015年(平成27年)2月

S346

高野山開創1200年記念大法会を前に、高野山ケーブルの2つの駅舎が改装され、照明設備がリニューアル。電球色のLED照明を多数採用し、悠久の歴史と重厚な伝統を感じさせる情緒感溢れる照明環境をつくり上げています。

弘法大師空海により開かれてから1200年目を迎えた世界文化遺産、高野山

816年(弘仁7年)に開かれて以来、日本仏教における聖地として歴史を刻みながら現在に至る高野山。2015年に開創1200年目を迎え、4月より50日間にわたり記念大法会が執り行われました。

通称高野山ケーブルと呼ばれる南海電鉄鋼索線の高野山駅と極楽橋駅は、高野山の玄関口として80年以上の長きにわたり日々訪れる旅客を迎えてきました。そして記念大法会を前に、国の登録有形文化財でもある高野山駅は駅舎の復元改装工事が、極楽橋駅も美装工事が行われ、ともに意匠性が高く、環境にもやさしいLED照明器具が多数採用されました。

意匠性を重視したLED照明器具が採用された駅舎およびホーム

開業当時の外観が復元された高野山駅駅舎は、木の温もりと歴史を感じさせる新たな装いとなり、2階には資料展示コーナーなどが設けられました。照明には落ち着いた電球色が選ばれ、駅舎正面から右に回り込む軒下通路にはLEDベースライトAQシリーズを採用。エントランス付近の1階コンコース部は格天井となっておりLEDライトエンジンダウンライトを意匠に調和させています。2階はLEDライトエンジンダウンライトをベース照明としながらLEDペンダントがレトロな雰囲気醸成するアクセントとなっています。応接室には6灯タイプのLEDシャンデリアが設けられました。

階段状のケーブルカー乗降ホームの照明には、高野山駅も極楽橋駅も小形・軽量で施工性に優れたLED高天井器具角形シリーズが採用され、400W形水銀ランプ器具に相当する明るさの昼白色の光がホーム全体を包み込んでいます。

極楽橋駅の美装工事では、コンコース天井を高野山駅と同じく格天井意匠に仕上げ、LEDライトエンジンダウンライトを採用。また、接続通路部から南海高野線ホームにかけては灯籠に見立てたLED電球の吊下式デザイン灯具(特注器具)が配置されています。櫛形3面4線の高野線ホームは、木造駅舎からイメージした特注品の格子調ラックに直管形LEDベースライト直付形を納めて設置。電球色の温かい照明空間が高野山を訪れる旅客を迎えます。



高野山駅1階コンコースの照明



高野山駅2階の照明



極楽橋駅高野線コンコースの照明



高野山駅ケーブルカー乗り場ホームの照明



高野線とケーブルカー 極楽橋駅高野線ホームの照明の接続通路の照明

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
高野山駅	LEDシャンデリア	LEDC88031-6G	1	LED消費電力：52.8W
	LEDペンダント(フランジタイプ)	LEDP88569	9	LED消費電力：9.1W
	LEDベースライトAQシリーズ	LET-07042-LS9	15	LED消費電力：24W
		LET-07042-LD9	12	LED消費電力：44W
	LEDライトエンジンダウンライト	LEDD-17321(W)-LD9	97	LED消費電力：29W/45W
		LEDD-16001M-LD9	32	LED消費電力：14.1W/18.6W
極楽橋駅	LED高天井器具	LEDJ-10021N-DJ2	12	LED消費電力：101W
	LEDホーム用照明器具1灯用(LDL40×1-LD9)	特注器具	24	LED消費電力：31W
	灯籠形吊下器具(小)2灯用	特注器具	15	LED消費電力：31.4W
	灯籠形吊下器具(大)4灯用	特注器具	11	LED消費電力：62.8W
	LEDライトエンジンダウンライト(特注ボックス付)	LEDD-17921-LD9	6	LED消費電力：45W
	LEDライトエンジンダウンライト	LEDD-17321(W)-LD9	30	LED消費電力：29W/45W
	LED高天井器具	LEDJ-10012N-DJ2	14	LED消費電力：101W